



セッションの進め方

ウッドバッジ研修所スカウトコース茨城第3期

§3-1 スカウト技能（野営技能・設営を含む）

第1日目 2019年11月1日（金）1330～1600（150分）

担当 伊澤 清実

◎ 目 標

1. 設営におけるテント類の取り扱いができる。
2. スカウトキャンプにおけるサイトの設計について理解する。
3. スカウトキャンプに必要な野営工作物について理解する。
4. 設営の方法と手順を理解する。
5. 野外活動の意義と重要性を理解する。

◎ ねらい（ポイント）

- 1 スカウトキャンプの標準的なサイト設計、テントの取り扱い、野営工作の作成、設営方法を理解させる。
- 2 スカウトキャンプでの役割分担と班制教育とのかかわりについて理解させる。
- 3 野外活動の楽しさと安全には野営技能の修得が必要であることを伝える。
- 4 すべての参加者が設営を含む野営技能が体得できるよう実技指導を行う。

◎ 所員の仕事（依頼事項）

- 作業時間を多く取りたいので、導入はなるべく簡単に短時間で済ませたい。
- 説明は一般論で行うので、各班のサイト状況、参加者のレベルに応じてフォロー。
- サイト設計図は白紙を渡しますので、各班の指導。
- 目標 5 の意義・重要性（役割分担→責任感、協働作業→チームビルド、創意工夫→個性の発達・創造力）は作業後でなければ理解が難しい。ふりかえりの時間を設けられませので、適時、参加者にフォロー。

◎ 準備品

参加者：マイギヤバック（関係資料、参考図書、スキル道具）等

◎ セッションの展開

1330 （導入）

- 設営のできる服装で集合
- 衣食住の説明（野外だから特別であるが、普段の生活と比較させる）

1340 ・設営手順書(別紙1)

設計図作製（別紙3を参考）班作成

役割分担(できないこと、やったことのないことを積極的にやること)

設営の順番(寝る→住む→食う→排す)

• 備品リスト(別紙2)

備品受け取り場所指示(倉庫前)

設営許可が降りたら速やかに備品を受け取ること

• サイト設計図(案) (別紙3) を各班に配布（下記説明する。）

風向き（テント入り口が風下になるように、できればテントの角で風を受けるように設置する。）

傾斜（テントはできるだけ平地に設置する。傾斜地の場合は、寝た時に頭が上になるように設置する。また、雨の浸入を防げる用に設置すること）

土質（水はけが良い場所、汚水の浸透が良い事。）

動線（作業や夜間の動きを考え、レイアウトを設計する事。）

日当たり（できるだけ日のあたる場所がいいが、夏季は暑さ防止のため、日影を好む事もある。テ



セッションの進め方

ウッドバッジ研修所スカウトコース茨城第3期

ントの乾燥が素早くできる場所が好ましい。))
安全 (薪割り作業と居住空間の分離、また火気使用場所とタープ・テントの分離を考える事。)

- 野営工作物(例) (別紙4) を各班に配布 (下記指示する。)
かまど (直火禁止、地面から離すためのかまどが必要)
食卓 (限られた材料でどのようなものが作れるか考えていただきたい。)
- サイト割り振り←各班班長の話し合いにより
- 設営完了時間の指示
- BPの言葉紹介
キャンプ場は広いところだ。しかし、一人だけそこに置けない者がいる。
それは、こまごまとしたいろいろな仕事を分担しなければならないのに、それをしようとし
ない者の事だ。
ボーイスカウトのどこにも、そのような場所はないのだが、特にキャンプにはない。
みんなが助け合い、みんなが気持ちよくキャンプが出来る様に、快く助け合わなければ
ならない。
こうして友情が育っていくのだ。

設営手順書

(3+1)枚

備品リスト

(3+1)枚

サイト設計図(案)

(3+1)枚

野営工作物(例)

(3+1)枚

1350 ・設営許可・・・やって見せる 

〈申請〉 上班→副長→隊長

〈許可〉 隊長→副長→上班→参加者

- キャンプはこれからの研修生活の中で大部分の時間を費やす営みの場→規律を正すために隊長許可
- 設営にかかれ 〈号令〉

15:50 設営作業終了 (一時中断) →1600 にはセッション終了